

## 市史編さん事業について

1. 事業概要 . . . 1
2. 市史編さん事業の会議体 . . . 2
3. 市史編さんのワークフロー . . . 2
4. 普及活動 . . . 3
5. 事業の成果・反響等 . . . 4

### (参 考)

『新修 福岡市史』刊行計画

福岡市史編さん委員会設置要綱

令和元年度 福岡市史編さん委員会委員名簿

令和元年度 福岡市史編集委員会委員名簿

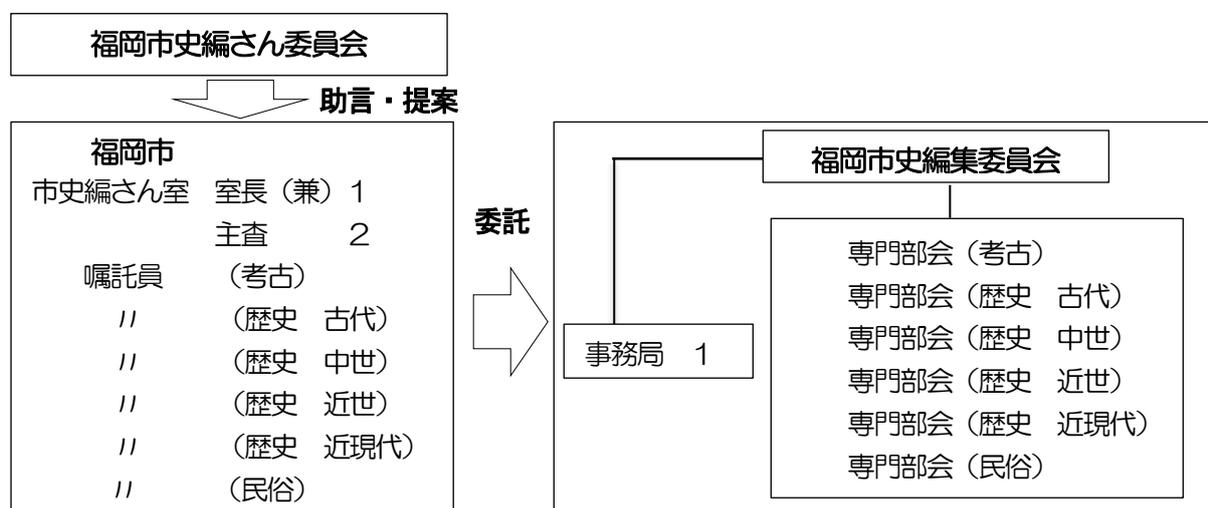
# 市史編さん事業について

## 1. 事業概要

### (1) 沿革

- 平成 13 年 4 月 市史編さん担当の職員（嘱託員）を総務企画局に配置
- 平成 13 年 7 月 市史編さんの基本方針を市長決裁
- 平成 16 年 4 月 教育委員会博物館に市史編さん室（室長 1 主査 1 主事 1）をおく
- 平成 16 年 11 月 市史編さん委員会をおく
- 平成 17 年 2 月 学識経験者からなる「福岡市史編集委員会」を発足  
※ 市史の各巻編集・制作は編集委員会に委託することとする
- 平成 22 年 3 月 刊行（配本）開始
- 平成 24 年 4 月 博物館を教育委員会から経済観光文化局に移管

### (2) 体制



### (3) 「新修 福岡市史」の体系

種類		各編巻 (既刊数)	予定巻
資料編 16巻 (9巻)	考古	3巻 (2巻)	考古2 (市域の遺跡総覧 東部編 東・博多・南区・中央)
	古代	2巻 (-巻)	古代1 (~平安時代前期), 2 (~平安時代後期 他)
	中世	3巻 (2巻)	中世3 (鎌倉時代~戦国時代、記録・典籍)
	近世	4巻 (3巻)	近世4 (江戸時代の農村、漁村)
	近現代	4巻 (2巻)	近現代3 (大正時代~昭和はじめ), 4 (昭和はじめ~)
民俗編		3巻 (2巻)	民俗編三 (夜と朝「1日」の区切りで見るくらしと文化)
特別編		5巻 (4巻)	特別編5 (地図・絵図)
計		24巻 (15巻)	—
通史編		刊行計画見直しで、ブックレットシリーズを予定	

## 2. 市史編さん事業の会議体

※委員名簿後掲

区分	会期	協議事項
福岡市史編さん委員会	年 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業報告, 事業計画</li> <li>・ その他 方針の変更報告等</li> </ul>
福岡市史編集委員会	年6回程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事 (委員任命等)</li> <li>・ 事業計画・収支予算</li> <li>・ 各専門部会の活動の確認</li> <li>・ 各巻の販売, 在庫状況の確認</li> <li>・ 市史講演会のテーマ, 開催時期, 広報計画の決定</li> <li>・ 研究誌の各巻の編集方針, 内容の確認</li> <li>・ 普及活動の確認</li> </ul>
専門部会	年0～4回 (刊行年度に より異なる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各巻の内容, 執筆分担, 依頼, 制作進行について検討</li> <li>・ 市史講演会 (担当年)</li> <li>・ 研究会</li> </ul>

## 3. 市史編さんのワークフロー

### (1) 編集方針を定める

一. 調査・収集の徹底, 学術的な水準と市民にとっての分かりやすさ

二. 東アジア全体から見た国際都市としての姿をえがく

三. 人々が活きた場としての姿 — 地形・環境・景観のなかの地域の歴史像をえがく

四. 文献や有形文化財だけでなく, 画像・映像・人々の経験も調査対象とし, 成果をデータベースとしても活用

五. 原史(資料)の尊重と, 人権への配慮

### (2) 全体の刊行計画を定める

(3) 資料調査 歴史 所在確認/台帳・目録化/画像撮影・収集/翻刻

考古 行政発掘成果の整理/関連遺物等の調査

民俗 民俗事象の調査/関連文献の調査

(4) 巻別の構成決定

(5) 編集制作刊行

(6) 閲覧拠点に配送・配架 (都道府県政令指定都市立図書館、文書館、主要大学等 300 機関)

(7) 関連催事の開催

## 4. 普及活動

### (1) 広報誌「市史だより Fukuoka」の発行

- ・市内の町にスポットをあて、その歴史を掘り下げる特集が好評



### (2) 研究誌「市史研究ふくおか」の刊行

- ・市史講演会の講演録等の特集の他、調査・研究の成果の一部を『新修 福岡市史』本体に先駆けて発表



### (3) 市史講演会の開催

- ・『新修 福岡市史』の刊行巻の内容に則して一般向けの講演会やシンポジウムを開催



- 市史講演会のテーマ（直近5年）
  - R01.10.05 『近世都市の記憶－江戸と博多，そのイメージを問う－』
  - H30.12.22 『活字文化の過去・現在・未来-金属活字とデジタルフォントまで-』
  - H29.10.07 『遺跡からみた福岡の対外交流-西部の遺跡を中心として-』
  - H28.11.26 『空の福岡、海の福岡－近代都市福岡の来歴を語り直す－』
  - H27.11.27 『福岡の戦後 70 年 ～文化・スポーツ・まちづくり～』



## 5. 事業の成果・反響等

### (1) 販売状況

『新修 福岡市史』販売状況

令和元年12月末現在

巻名	資料編 中世1	特別編 福の民	資料編 考古3	資料編 近世1	資料編 近現代1	民俗編一 春夏秋冬 起居往来	特別編 自然と遺跡 からみた 福岡の歴史	特別編 福岡城	資料編 中世2	資料編 近世2	資料編 近現代2	民俗編二 ひとと人々	資料編 考古1	特別編 活字メディア の時代	資料編 近世3	合計
22年度	174	360														534
23年度	51	45	142	71												309
24年度	24	34	33	28	48	35										202
25年度	23	77	11	22	20	16	225	255								649
26年度	23	52	20	19	16	6	106	276	63	45						626
27年度	23	16	19	16	14	9	35	116	40	34						322
28年度	10	11	4	6	7	11	-	122	18	8	20	45				262
29年度	15	19	8	8	5	5	-	59	12	7	11	16	67			232
30年度	12	28	9	7	8	8	-	62	10	10	9	12	21	75		271
元年度	5	-	4	1	2		-	22	6	4			9	29	13	95
(A)販売累計	360	642	250	178	120	90	366	912	149	108	40	73	97	104	13	3,502
(B)発行部数	1,000	1,500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,500	1,000	17,000

### (2) 調査成果の還元

#### ■ 取材・レファレンス対応および市史の活用について

No.	日付	種別	内容	分野	質問者	解決
1	5/31	レファレンス	地藏松原の地名と範囲について	近世～ 近現代	文化財活用部	済
2	6/13	レファレンス	旧早良町の歴史について	近現代	早良区役所入部出張所	済
3	6/14	レファレンス	市制施行以前の樋井川村のデータについて	近現代	城南区役所	済
4	6/14	レファレンス	博多素麺の関連資料について	近世～ 近現代	月刊はかた	済
5	6/19	レファレンス	黒田綱政墓所の副葬品について	近世	九州大学 九州文化史	済
6	6/19	レファレンス	アインシュタイン来福に関する記事について	近現代	福岡市科学館	済
7	6/24	レファレンス	福岡呉服町の江戸期の状況について	近世	文化財活用部	済

8	7/2	ワァルス	『市史だより Fukuoka』第24号の入手について	-	福岡市総合図書館 (個人ワァルス)	済
9	7/11	ワァルス	周船寺の歴史について	近世～ 近現代	西区役所 (個人ワァルス)	済
10	7/12	ワァルス	おポンプ様の由来について	近現代	福岡市総合図書館	済
11	7/25	ワァルス	江戸時代の船舶について	近世	個人	済
12	8/8	取材	『特別編 活字メディアの時代』について	近現代	読売新聞 (有馬委員長対応)	8/24 記事
13	8/10	-	百道の水上飛行場について (『市史だより』からの引用)	近現代	「西日本新聞」記事広告	8/10 記事
14	8/21	ワァルス	姪兵のお茶屋について	近世	文化財活用部	済
15	8/26	ワァルス	第21代市長奥村茂敏の肖像写真について	近現代	文化財活用部 (福岡市東京事務所)	済
16	9/4	ワァルス	西新周辺の古地図について 福岡の変について	近世	個人	済
17	9/11	ワァルス	博多文琳について	近世	観光産業課	済
18	9/26	ワァルス	薬院と平尾について	近現代	個人	済
19	10/9	ワァルス	雁ノ巣飛行場について	近現代	読売新聞記者	済
20	10/9	ワァルス	藤原定家本源氏物語「若紫」について	近世	学芸課	済
21	10/23	ワァルス	脇山の主基齊田について	近現代	福岡城市民の会	済
22	11/1	ワァルス	福岡市美術館の都府楼礎石について	古代	個人 (太宰府市)	済
23	11/1	ワァルス	福岡大空襲の被害額について	近現代	総務企画局 (市民より問い合わせ)	済
24	1/8	ワァルス	博多湾岸の変遷について	近現代	港湾航空局総務部総務課	済
25	1/14	ワァルス	今宮神社(南区五十川)の由緒について	近世	個人	済
26	1/21	ワァルス	「福岡市」「博多市」について	近現代	読売新聞	済
27	1/21	ワァルス	遠賀郡香月村大庄屋久野家と黒田家家臣久野家との関係について	近世	個人	済

■ [外部協力] 『西日本文化』への掲載記事について

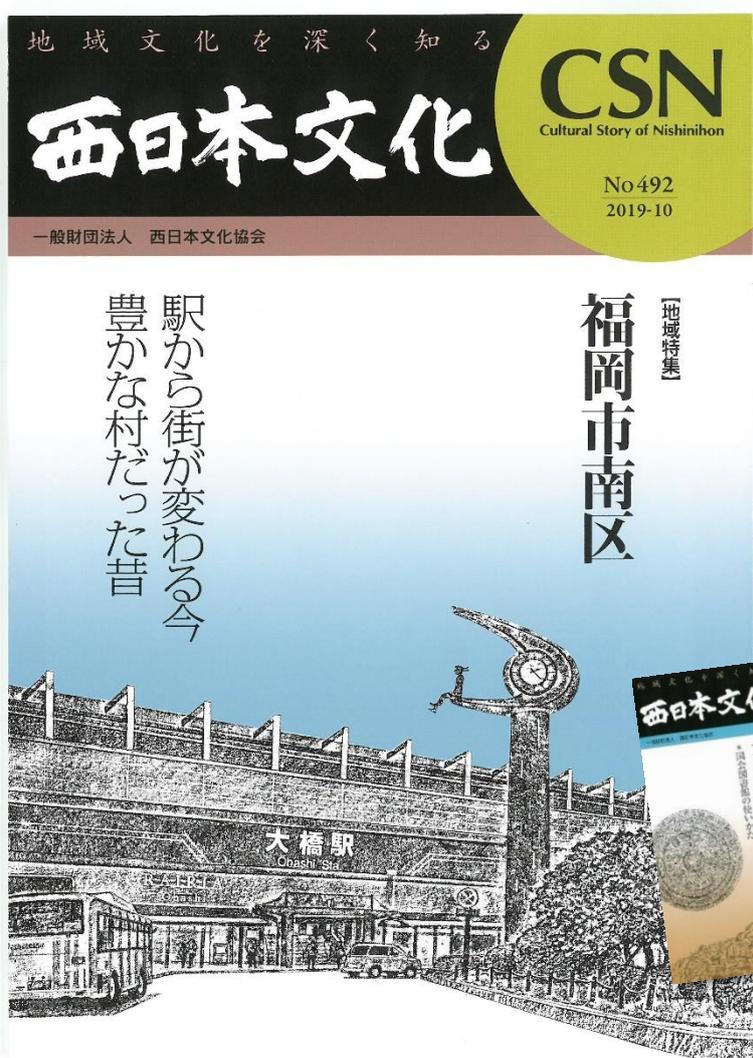
西日本文化協会発行『西日本文化』（秋季号/492号）\*9月末発行

[地域特集] 福岡市南区

(金文堂大橋支店にて売り切れ)

- ・福岡城と大宰府を結ぶ「高宮通り」に見る沿線の変化 / 宮野弘樹
- ・団地造成と住宅政策 / 鮎本高志
- ・村々の田畑をうるおした灌漑 河川の井堰と丘陵の溜池 / 八嶋義之
- ・若久に残るむかしの道 / 加峰三枝子・原田諭・宮野弘樹
- ・南区に残る「オサ」の地名 / 原田諭
- ・日佐村民興奮の旅日記 一清水大次郎「大飛躍」の記録 / 加峰三枝子
- ・「県下屈指の酪農村」日佐 一『市史だより』の取材で見た写真から一 / 原田諭

※ 市史編さん室関係者原稿のみ記載





■『特別編 活字メディアの時代』連動企画 文林堂活版見学会 実施後のメディアの反応

令和元年12月3日(火)

KBC シリタカ! 「活版印刷」魅力を発見、一文字一文字にぬくもり



「活版印刷」魅力を再発見、一文字一文字にぬくもり

2019年12月03日  
[シリタカ!]



今では、ほとんど見られることがなくなった「活版印刷」。

一つ一つ文字を詰め込み、人力で紙に文字を印刷していくこの技術に、今、注目が集まっています。



西日本新聞 令和元年11月19日(火)

福岡市で作品展 がん予防啓発  
や女性の働きである。全国的アーティストを題材にしたアート展 巻き込んだ人気企画に成長は、展覧が15日に福も開催して注目集めた。中央六本松の市科学された。胸の形をシヨンのラジャーの形を切り出した作品の展示や、胸の絵の上にタンヤリボンで乳房をあらわすコトバップ作りなど、多彩な企画を展開。パットゴルフのコーナーでは、来場者が球状に縫い合されたフラバッドをつづこニクナリを体験した。出席者の一人のデザイナー 岡村しんさん(31)福岡を離れてから開



使い古したブラジャーを使ったアートを制作した田中葉美さん

活版印刷で 名刺作り

鉛製の活字を使った昔ながらの活版印刷を業しむ鳥飼の印刷所「文林堂」であった。店主の山田善之(58)の手はときを待たぬが、小学生から初年までの12人が味わい深い自分だけの名刺作りを体験した。山田さんは、父親が経営していた印刷所を10歳頃から手伝っていた。集まった親子連れらに「遊びの種も少なかった時代、活字探しがブロック遊びのよう感覚だった」と語り掛けた。参加者は手、作業場の



どんな文字ができるかなー。山田さん(中央)の教えのもと、活版印刷に挑戦する親子連れ

読売本新聞 web 令和元年12月17日(火)



デジタル時代に注目される手作業の味わい 「活版印刷」を学んできた【前編】

2019.12.17



書物が好きな人にファンが多く、いまでも幅広い人気がある活版印刷。福岡市城南区鳥飼にある印刷所「文林堂」で11月下旬、活版印刷のワークショップが開かれました。とくにデジタルが主流な時代、昔ながらの印刷手法が支持されている理由をこの目で確かめようとするワークショップを見学してきました。

- 目録 INDEX
1. ワークショップが開かれた
  2. 印刷って大変な仕事だった
  3. デジタルでは出ない味わい

印刷の歴史にふれる  
ワークショップは、福岡市博物館の市史編さん室が主催しました。市史編さん室は「新編福岡市史 特別編『活字メディアの時代』」を発行し、その関連で企画されたワークショップを文林堂が受け入れました。店主の山田善之さんが印刷の歴史を参加者に説明し、年季の入った印刷機の強い力を伝えています。

明月堂創業90周年 特別企画

# 福博今昔物語

よかトピア通り編

## 人気の海水浴場 往時伝える碑も

「よかトピア通り」は福岡市中央区の福浜団地人口交差点から同市東区の大野川其川岸までの2.7キロ。正式な路線名は市道兼福浜線。市道兼大野川線です。89年に開かれた「アジア太平洋博覧会(よかトピア)」に伴い整備され、同年市制100周年を記念する道標愛称募集でこの名が付けられました。もともとこの辺りは海辺で、海水浴の人気スポットでした。18年7月7日付の福岡日日新聞(西日本新聞の前身)朝刊は、「百道海水浴場」のオプティミズムを大きく感じ、機嫌を良くして存を男子浴場と「左は女子浴場」と伝えていました。戦後も海水浴場として親しまれ、59年7月26日付の西日本新聞夕刊には大勢の人が楽しむ様子を紹介されています。現在、よかトピア通りのそばには「百道海水浴場跡」の碑が設置されており、往時の様子を知らることができます。

福岡市西部の埋め立て地・シーサイドももち地区で1989年、市制100周年を記念して「アジア太平洋博覧会(よかトピア)」が開かれました。そのクマヤ道路として整備されたのが、一帯を東西に走る「よかトピア通り」です。かつてこの辺りは海辺で、海水浴場としてにぎわいました。

# 百道海水浴場だった頃

福岡市博物館市長鑑心堂のサイトによると、この辺りは水上飛行機の着陸場の候補地になったこともあったと述べています。24年4月12日付の福岡日日新聞は、水上飛行機が三連百道に着くと報じ、その後試験飛行が行われていたようすが福岡、着陸場は現・同市中央区港地区に造られ9月に終結。「百道飛行場」の発掘は、わずか数カ月でした。

## 80年代に埋め立て アジア太平洋博も

福岡市博物館市長鑑心堂のサイトによると、この辺りは水上飛行機の着陸場の候補地になったこともあったと述べています。24年4月12日付の福岡日日新聞は、水上飛行機が三連百道に着くと報じ、その後試験飛行が行われていたようすが福岡、着陸場は現・同市中央区港地区に造られ9月に終結。「百道飛行場」の発掘は、わずか数カ月でした。



1989年 一帯は埋め立てられ、シーサイドももち地区に、よかトピア通り 発着のよかトピア通り



1919年 7月7日付福岡日日新聞朝刊 百道海水浴場の開場を伝える

(港地区の水上飛行機場から)は今年6月9日付「通り物語」Vol.4 昭和通り編で紹介しています。

一帯は80年代に埋め立てられ、シーサイドももち地区が誕生。89年3月9日に開かれた「アジア太平洋博覧会」には、約823万人が訪れました。



1991年 「博多どんたくまつり」で、よかトピア会場に盛り出したどんたくの縁

現在、プロ野球ソフトバンクの本拠地ヤフオクドームをはじめ多彩な施設が集積しにぎわう同地区。よかトピア通りはインストリートとして、人々の往来を後押ししています。

企画・制作/西日本新聞社メディアビジネス局

## 近頃の通り散策

### 黒門川通り

よかトピア通りと隣接して接するのが「黒門川通り」です。この下には、近頃の「大蔵公園」の池の排水機能を果たしている黒門川が流れていて、1980年代に地下水浄化されました。黒門川の途中にはかつて流



れをせき止め、魚を生け取りにする仕掛けをした「集所」があり、江戸時代には漁が行われていたという「場所跡」の説明版を

通りの中ほどには、カッパのかわいい親子像「せせぎまがっば」も。地域に伝わる漬物カッパの物語がモチーフになっています。通り沿いには、地域の名所を紹介する説明版が設置されています。



### マリナ通り

よかトピア通りの西方を流るのが「マリナ通り」。95年に福岡市が開かれた「ユニバーシアード福岡大会」の関連道路として整備され、ヨットハーバーなどのマリナ施設や「マリナ」という名称の施設が近辺にあることから、この名が付けられました。



マリナ通り近くにあったユニバーシアード福岡大会選手村で、行われた開業前夜祭 = 1995年8月

# 『新修 福岡市史』刊行計画

参 考

刊行年		刊 行 卷
平成・令和	西暦	
22	2010	特別編 福の民—暮らしのなかに技がある—
		資料編 中世1 市内所在文書
23	2011	資料編 考古3 遺物からみた福岡の歴史
		資料編 近世1 領主と藩政
24	2012	資料編 近現代1 維新見聞記
		民俗編 春夏秋冬・起居往来
25	2013	特別編 自然と遺跡からみた福岡の歴史
		特別編 福岡城—築城から現代まで—
26	2014	資料編 中世2 市外所在文書
		資料編 近世2 家臣とくらし
27	2015	資料編 近現代2 近代都市福岡の始動
		民俗編 ひとと人々
28	2016	資料編 考古1 遺跡からみた福岡の歴史—西部編—
29	2017	特別編 活字メディアの時代
30	2018	資料編 近世3
2	2020	資料編 考古2 ※ ブックレット・シリーズ刊行開始予定
3	2021	資料編 古代1
4	2022	民俗編三 夜と朝
5	2023	資料編 近現代3
6	2024	資料編 中世3
7	2025	資料編 古代2
8	2026	資料編 近世4
9	2027	資料編 近現代4
10	2028	特別編 地図・絵図(仮) ※ 資料編・民俗編・特別編 刊行終了

(設置)

第1条 福岡市史（以下「市史」という。）編さん事業を円滑かつ効果的に推進していくため、福岡市史編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 市史編さん計画など市史編さんに係る重要事項に関すること。
- (2) 市史編さんに必要な資料の調査・収集、執筆、編集等に関すること。
- (3) その他市史編さんに関して市長が必要と認める事項

(組織及び委員)

第3条 委員会は、15人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、副市長、市議会議員、学識経験者、市職員その他必要と認める者のうちから、市長が委嘱する。

3 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は副市長（経済観光文化局担当）をもってこれに充て、副委員長は福岡市博物館長をもってこれに充てる。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(相談役及び顧問)

第5条 委員会に、必要に応じて相談役及び顧問を置くことができる。

2 相談役は、委員長からの要請に応じ、市史全般について指導・助言を行うものとする。

3 顧問は、委員長からの要請に応じ、委員会の運営に関する重要な事項について助言を行うものとする。

4 相談役及び顧問は、市長が委嘱する。

(協力員)

第6条 委員会に、市史編さんに関する情報の提供等を求めるため、必要に応じて協力員を置くことができる。

2 協力員は、委員長が委嘱する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見又は説明を述べさせることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、市史編さん室において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

(附則)

この要綱は、平成16年11月16日から施行する。

(附則)

この要綱は、平成29年2月1日から施行する。

## 令和元年度 福岡市史編さん委員会委員名簿

参 考

(敬称略, 順不同)

職 名	氏 名	所属・役職名	備 考
委員長	なかむら えいいち 中村 英一	福岡市副市長	新任
副委員長	ありま まなぶ 有馬 学	福岡市博物館長・九州大学名誉教授	
委 員	かわはら まさたか 川原 正孝	福岡商工会議所副会頭	
委 員	かわさき たかお 川崎 隆生	株式会社西日本新聞社相談役	
委 員	しばた かずお 柴多 一雄	長崎大学名誉教授	
委 員	うだがわ のりと 宇田川 宣人	福岡文化連盟理事	
委 員	はやし きみこ 林 君子	福岡市七区男女共同参画協議会代表	
委 員	ささやま もりと 笹山 守人	福岡市自治協議会等7区会長会代表	
委 員	はしだ かずよし 橋田 和義	福岡市議会経済振興委員会委員長	新任
委 員	おのだ かつのり 小野田 勝則	福岡市総務企画局長	新任
委 員	ほしこ あきお 星子 明夫	福岡市教育委員会教育長	
委 員	あまもと としあき 天本 俊明	福岡市経済観光文化局理事	

## 令和元年度 福岡市史編集委員会委員名簿

(敬称略, 順不同)

職 名	氏 名	所属等	部 会
委員長	有馬 学	福岡市博物館長	近現代
副委員長	柴多 一雄	長崎大学 名誉教授	近 世
編集委員	宮本 一夫	九州大学大学院人文科学研究院 教授	考 古
編集委員	重松 敏彦	太宰府市公文書館研究員	古 代
編集委員	伊藤 幸司	九州大学大学院比較社会文化研究院 准教授	中 世
編集委員	関 一敏	九州大学 名誉教授	民 俗

